

なくせ貧困！生存権と労働運動の関わり方を考える

湯浅誠さん来る！

7月4日(金) 18時30分～

エルおおさか南ホール 資料代500円

今、フルタイムで働いても年収200万円以下しかない「ワーキング・プアー」(働く貧困層)が深刻な社会問題となっています。しかし、一方で、憲法25条の定める生存権の理解や、その具体化の一つである生活保護制度の活用は十分でなく、また、貧困に対する労働運動の取り組みはまだ模索の段階です。

そこで、今回は、「なくせ貧困！ 生存権と労働運動の関わり方を考える」をテーマに、ワーキング・プアーをなくすための生活保護などの活用と、それに対する労働運動の関わりを考えたいと思います。

東京のNPO法人自立生活サポートセンター「もやい」の事務局長、「反貧困ネットワーク」事務局長で、『貧困襲来』『反貧困 「すべり台社会」からの脱出』などの著書のある湯浅誠さん、約2万世帯が加入し生活保護支援をはじめとする多彩な活動を行っている「全大阪生活と健康を守る会」事務局長の大口耕吉郎さんにお話しいただくとともに、労働組合と連携するなどして貧困と闘っている現場の労働者の方々によるリレートークを予定しています。

皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

報告

「生活保護基準と賃金 生健会の運動から」

大口 耕吉郎 さん(全大阪生活と健康を守る会事務局長)

リレートーク

- ・官製ワーキングプアーとたたかう清掃労働者
- ・派遣で働きながら組合活動もがんばる若者
- ・生活保護を利用して働くシングルマザー

講演

「すべり台社会からいかに抜け出すか」

湯浅 誠 さん

(自立サポートセンターもやい事務局長・反貧困ネットワーク事務局長)

